

令和6年事業所における自己評価表

事業所名 高槻市立うの花療育園

公表：令和7年3月28日

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	20	7	7	0	利用定員に対するスペースの確保は適正であるが部屋に限りがある。時間を区切ったり、クラス間で話し合いながら使用することで工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	18	4	12	0	職員の配置数は適切であり、職員の休みの調整も行なっている。個別対応が日常にあり、職員配置が足りないと感じることもある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	4	4	0	個別のスペースやカムダウンスペースを人数分作ることは難しい。今あるスペースをどのように使用していくか課題である。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	2	5	0	活動に合わせて部屋を使用する等、工夫している。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	30	1	3	0	目標設定と振り返りをしているが、全ての職員には周知できていない。
	⑥	保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	30	0	4	0	保護者からのアンケートを参考に業務改善に取り組んでいる。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	31	0	3	0	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	18	8	8	0	第三者評価は受けていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	34	0	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	31	0	3	0	新入園児は入園面接や保護者のアンケート、継続児は年度末の園内引継ぎでアセスメントは適切に行なっているが、アセスメント時期と現在の子どもの姿の違いを補う方法を検討している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	30	0	4	0	発達検査などを参考に、クラス会議で表にして取り組んでいる。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	0	4	0	個人懇談でモニタリングを行なっているが、支援計画に反映されていないこともある。計画内容に照らし合せて、療育場面で反映していくことをクラス内で周知していく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31	0	3	0	
	⑭	活動プログラム立案をチームで行っているか	31	0	3	0	クラス担任で話し合っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	31	0	3	0	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	29	0	4	1	個別セッションの計画は別になっているが、日々のクラスでの取り組みとすり合わせながら取り組んでいる。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22	4	8	0	出勤時間に違いがあり、療育前に打合せをすることは難しいので、療育内容や一日の流れ、役割分担を紙面に記載し、各自で確認するようにしている。気になることはその場で確認したり、声かけするようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	16	6	12	0	勤務時間の違いはあるが、気づいたことはその都度伝えるようにしている。事務連絡は連絡ノートやホワイトボードを活用している。療育終了後に時間を設けることは難しいが、隙間時間やクラス会議で行なうことが多い。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	31	0	1	2	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	30	0	3	1	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	28	0	5	1	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	28	1	4	1	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	27	1	4	2	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	26	1	5	2	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	29	0	4	1	情報共有のみならず、先方に理解が得られるような説明の工夫が今後も必要である。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	28	0	5	1	情報共有のみならず、先方に理解が得られるような説明の工夫が今後も必要である。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25	0	8	1	園内では、大学教授からのSVを定期的に受ける体制をとっている。他のセンターや事業所との研修については、本センターが主導となる職員向けの研修会を開催したり、参加をしている。
	28	保育所やこども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	30	1	2	1	現状としては年2回実施している。先方との日程調整の上で回数は決定しているが、十分ではないとの意見もあるので、来年度の実施方法を検討したい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	23	0	10	1	本園が参加している現状を知らない職員が毎年おり、周知の仕方を検討する必要がある。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	31	0	2	1	
保護者への説明責任	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	30	0	3	1	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	30	0	3	1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	29	0	4	1	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	32	0	1	1	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	31	2	0	1	世相に合わせて活動を簡素化している為、交流は減っているが、親の会の集まりを公民館で開催できるよう、支援している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32	0	1	1	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	33	0	0	1	

等	⑳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	30	0	3	1	十分に注意している。
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	33	0	1	0	
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	23	3	8	0	園庭開放を地域の方にも開放している。うの花まつりでは、地域の福祉施設の出店を依頼する等しているが、今後は、地域一般の方も含めて招待できるような工夫を考えていく。
非常時の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	33	0	1	0	
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	33	0	1	0	
	㉕	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	33	0	1	0	
	㉖	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	34	0	0	0	
	㉗	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	33	0	1	0	
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	34	0	0	0	
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	24	2	8	0	「やむを得ない身体拘束」が分かりにくいという意見があり、どの行為が身体拘束に当たるのか等、研修で話し合う機会を持っている。あらためて、身体拘束適正化指針に基づいた適切な対応ができるよう構築していく。